

注（引用文献）・参考文献の記載フォームについて

注（引用文献）・参考文献は、下記のフォームによって記載すること。

注（引用文献）の記載

単行本の記載項目⇒編著者名『書名』（版），発行所，発行年，ページ

記載例⇒ 注

- 1) 秋山智久編『世界のソーシャルワーカー』，筒井書房，2012年，230ページ。
- 2) 近藤克則『健康格差社会』，医学書院，2005年，48ページ。
- 3) 前掲2)，128～136ページ。

訳本の記載項目⇒原著者名，原書名，原書発行所，原書発行年，訳者名『訳書名』，訳書発行所，訳書発行年，ページ。

記載例⇒ 4) Francis J. Turner ed., Social Work Treatment: Interlocking theoretical approaches, The Free Press. 1996. 米本秀仁『ソーシャルワーク・トリートメント』（第4版），中央法規，1999年，341～342ページ。

雑誌の記載項目⇒執筆者名「論文の標題」『雑誌名』巻（号），発行所名，発行年，ページ。

記載例⇒ 5) 筒井孝子「介護保険制度下の介護サービス評価に関する変化」『厚生の指標』第51巻，第1号，厚生統計協会，2004年，4ページ。
6) Sally Bourd et al. "Ability Disability, and the Oldest Old", Journal of Aging & Social Policy. Vol. 9 (1), 1997, pp. 13-31.

欧文雑誌掲載の論文名は“ ”で囲むこと。

欧文の書籍・雑誌の題名は、イタリック書体にするので、該当字句にアンダーラインを引くこと。

電子メディア情報の記載項目⇒著者名（公表年または最新の更新年）「当該情報のタイトル」（URL，アクセス年月日）

記載例⇒ 7) International Federation of Social Workers 「Definition of Social Work」
(<http://www.ifsw.org/en/p38000208.html>, 2006. 3. 24)

注の文中で参考文献を記述する場合

単行本の例⇒ 8) この問題に触れているものには、『老人ホームと介護事故』（全国社会福祉協議会，2000年），柴尾慶次『介護事故とリスクマネジメント』（中央法規，2000年）などがある。

雑誌の例⇒ 9) 社協事業の評価が困難な要因については、佐藤哲郎「市町村社会福祉協議会の事業評価について」（『社会福祉士』第19号，社団法人日本社会福祉士会，2012年，10～11ページ。）

参考文献の記載

本文中に注番号のない参考文献の記載は、上記の注に準じる。

記載例⇒ 参考文献

- ・秋山智久編『世界のソーシャルワーカー』，筒井書房，2012年，230ページ。
- ・近藤克則『健康格差社会』，医学書院，2005年，48ページ。

●例示の注の文献は一部，（社）日本社会福祉士会編『社会福祉士』第12号（2005年），第13号（2006年）から引用。